

鹿児島県支部 設立 30 周年 一期一会

太極の道、則ち、人生の王道也

心に感じるものこそ大切

初代支部長 海江田 順三郎

鹿児島県支部設立 30 周年、おめでとうござ
います。「三十年が過ぎ、父が良く言っていた
目に見えるものだけを追ってはいけない。心に感じる
ものこそ大切なんだよ。」(太極 154 号掲載より)
師家楊名時先生がご息女の楊慧先生に諭されていた
お言葉は、結成三十年を迎える本県支部会員一人一人
に残された遺言でもあると思います。先生がご在世中
のご発言の数々をあらためて味わいたいと思います。

「私たちの太極拳を貫くものは、和の心である。別
の言い方をすれば『健康、友好、平和』である。心の
広い謙虚な人になるのが理想である。」

「他人の健康と幸福を願わなければならない。『同心
協力』は三国志に出てくる私の大好きな言葉。太極の
道は、自分を大切にし、仲間を大切にすることで開か
れると信じる。」

「八段錦太極拳は、心を込めて深い呼吸に合わせて、
ゆっくりと体を動かす『心・息・動』であり、心と体
(動き)を呼吸と共に合わせていくことが大切である」
等々、師家のご教示は深遠な哲学であり、生理学的に
も妥当な至言であります。

人生の宝とも申すべきご縁をいただいた師家と手解
きをいただいた宮田重壽師範に心からの感謝とご冥福
を念ずる次第です。



和を以って貴しと為す

川薩友好会 (現西地域) 初代会長 堀 芳夫
鹿児島県支部設立 30 周年、おめでとうござ
います。

私は、昭和 61 年に最高の心身の養生体術「楊名時
太極拳」のご縁を戴きました。あれから早や 38 年。
その後、楊名時先生に直接ご指導を賜わり、その訓え
の全てが、私の人生訓となりました。先生から薫陶を
受けた日々は、私の生涯の宝とする思い出です。

私への先生の訓えは一貫して「心」でした。ご逝去
の数日前、お電話での「堀先生、心ですよ」のお言葉
は、私が大切にしている先生の遺訓であります。

「和を以って貴しと為す。和は世を問わず人類共通の
大切な人の道。楊名時太極拳で最も大切にしたいのは
和の心と心の和。和やかな心が人を健康と幸せにする。
健康、友好、平和を願う心、広々とした大らかな心で
同心協力し、和而栄え、平和と幸せを享受することを
願いとす」川薩友好会 15 周年での先生のお話です。

先生は「五則」、「あいおおく」、論語の引用等を通じ、
心技と体技の体得には、まず、和の心と心の和とされ、
心の修養の大切さを説かれていたと感じます。

その訓えは、まさに心の道。人生の王道たる導です。
そして、今日、楊進先生と楊慧先生により太極の道が
一層深められ、この道を愛し歩む私達は幸せです。

「健康、友好、平和」の未来が楽しみです。

全ての会員様と共に 30 年 ～為了明天～ 健康と幸せを未来へ繋ぐ

歴代の理事役員の皆様、支部会員の皆様に感謝申し上げます。

鹿児島県支部 歴代支部長・副支部長・理事	
歴代支部長 会長・顧問	(支部長) 海江田順三郎、前田篤宏、田畑昭志、八田康雄、松崎伸男 (会長・顧問) 江良英千代、染川光三、本坊文子
歴代副支部長	櫻井満規子、堀芳夫、立石克己、坂上安夫、松谷保子、間世田弘子、松木美恵子、濱崎フジ子、一氏彰憲、大平須美枝
歴代理事・監事	永井俊徳、北之園久美子、岩谷マツ子、永原勝幸、鮫島香枝子、森園芳次、中村光子、春山ワカ、川俣義人、 鰐坂悦子、上村シズエ、黒崎文好、原三枝子、厚地美恵子、原田ちず子、久保敦子、終野妙子、泉のり子、 間世田直則、有川和秀、時村ヨシ、崎山むつこ、生田久子、伊澤恭子、本村好子、原口和子、田平明美、 松谷昭男、本信子、神田薫、立石リヨ子、生駒クミ、通山益美、木佐貫恵子、富吉士行、松澤宜生、寺岡サヨ、 大平正通、阿萬美保子、徳田芳文、今給黎廣、東幸治、徳留盛行、終平みゆき、濱田由利子、 久保英子、竹中知子、藏治里子、中村浩美、中村和美、指宿敏江、前田律子、東口耕二、堀 昭一

※敬称・故人表記略。歴代理事の皆様のお名前は、「太極かごしま」に記載の順にて掲載しております。